

Press Release

2021年12月20日

SBT (Science Based Targets) 認定を取得

DMG 森精機株式会社(以下、当社)、及びグループ会社のドイツ DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT は、2030 年に向けた温室効果ガス削減目標について、国際的な環境団体「SBT イニシアチブ」により認定を取得しました。

◆今回認定を取得した、当社の温室効果ガス排出削減目標 *1

Scope 1 + 2 : 基準年 2019 年に対して 2030 年までに 46.2%削減

Scope 3 : 基準年 2019 年に対して 2030 年までに 13.5%削減

「SBT イニシアチブ」は、2015 年に CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の 4 機関が共同で設立した国際的な団体です。産業革命前からの世界の気温上昇を、2°Cを十分に下回るまたは 1.5°C未満に抑えることを目指す「パリ協定」が求める水準となるように、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標策定を企業に推進しています。2021 年 12 月 20 日時点で、世界全体では 1,083 社、日本国内では 148 社の企業が認定を取得しています。

(SBT イニシアチブ Web サイト: <https://sciencebasedtargets.org/>)



当社は、持続可能な社会を目指し、脱炭素社会や人と自然が共生できる社会、資源循環型の社会に向けた取り組みを行っています。特にカーボンニュートラルに向けた取り組みをグループ一丸となって加速させており、2021 年 3 月には、2021 年にグローバルで生産する全商品の部品調達から商品出荷までの工程においてカーボンニュートラル達成を宣言しました。今回認定を取得した新たな目標の達成に向けて、引き続き、自社での CO₂ 削減の活動に取り組むとともに、環境に配慮した商品の提供を通じて、お客様における CO₂ 排出量の削減を実現します。当社は、工作機械事業そのものが環境保護に貢献するものと考えており、今後も持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

◆当社のサステナビリティへの取り組みについて、当社 Web サイトにて詳しくご紹介しています。

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/index.html>

*1 Scope 1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope 2: 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

Scope 3: Scope1、Scope2 以外の温室効果ガスの間接排出

(購入した製品やサービス、上流と下流の輸送、販売した製品の使用、製品の廃棄等)

以上